

持続可能な未来に 向けたCAUの歩み

韓国中央大学校中央史学研究所・林慶花



これまでの SDGS取り組みの概要

中央大学の概要

- 創立年：1918年、100年以上の教育の歴史
- キャンパス：ソウルキャンパス（都市型）、安城キャンパス（自然型）
- ビジョン：CAU 2030+（創造・融合・責任を備えたグローバル・リーダーの育成）
- 学生数：約2万人、多様な専攻と融合教育を展開



持続可能な 発展戦略の概要

- ESG経営の導入：2022年より本格的に実施
 - 環境（Environment）環境に優しいキャンパスの構築、エネルギーの節約、炭素排出の削減など、持続可能な環境のための実践。
 - 社会（Social）多様性と包摂性、地域社会との協力、学生と教職員の福祉向上など、社会的責任の遂行を目指す。
 - ガバナンス（Governance）透明な意思決定、倫理的な経営、責任ある業務運営を通じて、信頼される大学を目指す。
- 国連SDGsとの連携：教育・気候変動・不平等解消を中心に対応



17의達成目標

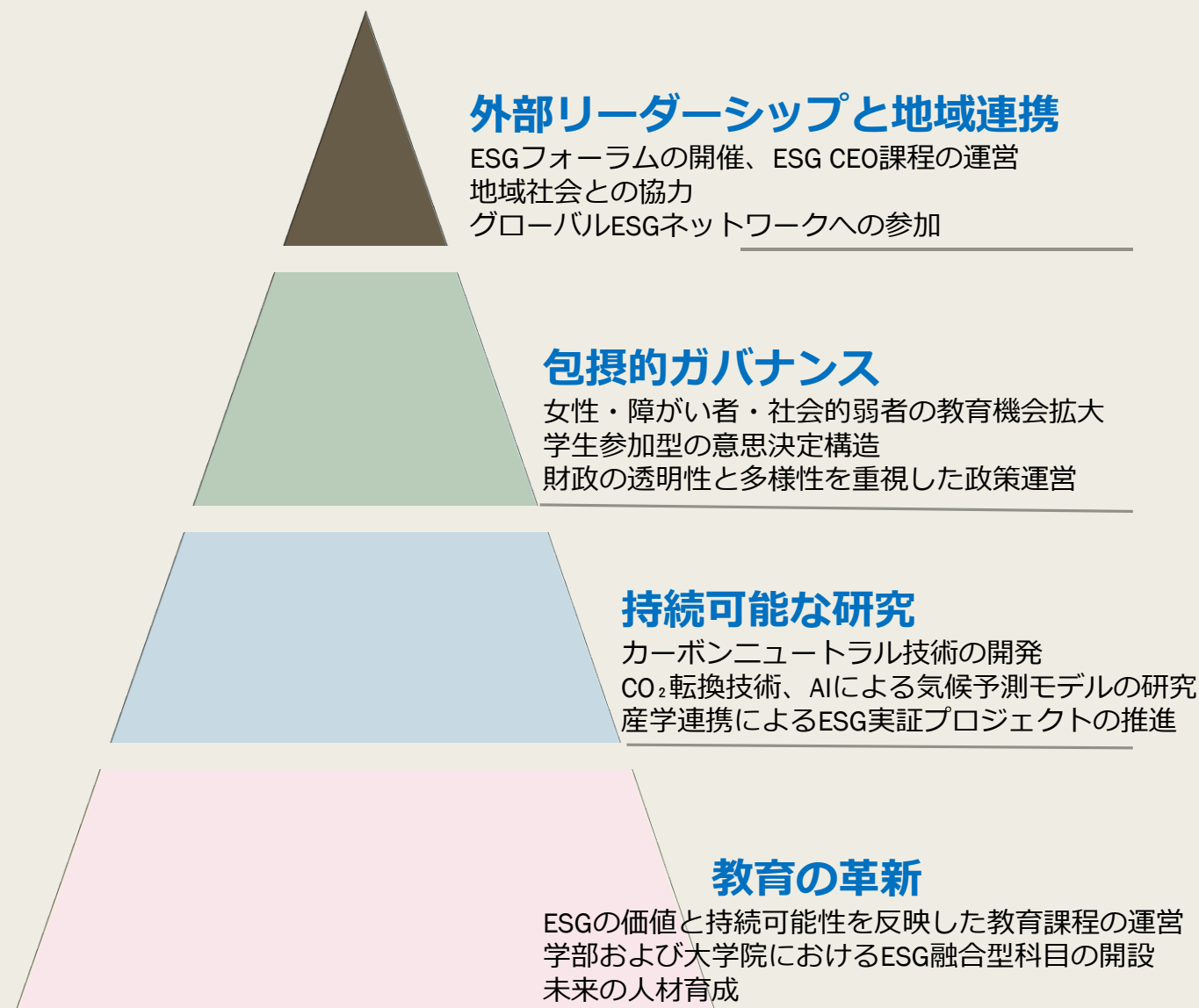
- 1 貧困をなくそう
- 2 飢餓をゼロに
- 3 すべての人に健康と福祉を
- 4 質の高い教育をみんなに
- 5 ジェンダー平等を実現しよう
- 6 安全な水とトイレを世界中に
- 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
- 8 働きがいも経済成長も
- 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
- 10 人や国の不平等をなくそう
- 11 住み続けられるまちづくりを
- 12 つくる責任つかう責任
- 13 気候変動に具体的な対策を
- 14 海の豊かさを守ろう
- 15 陸の豊かさも守ろう
- 16 平和と公正をすべての人に
- 17 パートナリーシップで目標を達成しよう

持続可能な 発展戦略の概要

■ 4つの戦略分野

- 教育の革新
- 持続可能な研究
- 包摂的なガバナンス
- 外部リーダーシップと地域連携

下層の「教育」と「研究」は、大学の本質的な機能を意味し、上層の「ガバナンス」と「外部リーダーシップ」は、それを基盤として社会的責任を拡張する構造です。ピラミッドは、安定性と拡張性の両方を象徴しており、ESG戦略が段階的かつ統合的に機能していることを示す。



教育分野の実践





2023년 창업경영대학원 기후경제학과 후반기(수시전형) 신입생 모집

■ 환경부 미세먼지관리 특성화대학원 지정 대학

학과 설명

중앙대학교 기후경제학과는 2008년 9월에 신설되어 지금까지 환경과 기후변화 분야에서 국내 최고수준의 전문인력을 양성함

2020년 6월부터 환경부 주관 미세먼지관리 특성화대학원으로 지정되어 온실가스 감축과 미세먼지관리 연구 분야를 확대하여 정책관련 이론과 연구 및 분석 교육을 실시함

※ 재학생에게 다양한 장학금 혜택 제공

개설 과목

자원환경 경제론	미세먼지학	대기오염과 대기학산론
에코디자인 방법론	미세먼지 파급 효과 측정 방법론	대기질 자료분석
미세먼지와 EGS경영	미세먼지학 전과정 평가	미세먼지 정책효과평가 모델링
미세먼지 정책 세미나	미세먼지 과감 실행	대기오염관리 정책 분석론

※ 산학연계프로젝트/현장실습/인턴십/논문게제/학술발표 실시
※ 환경부 지침에 따라 추후 일부 과목 변경 예정

장학 혜택

■ 교내 : 입학성적 우수장학금, 성적우수 장학금, 조교 장학금

원서접수

■ 접수 기 간 : 2023.7.3.(월)~23.07.18.(화)
■ 서류제출기간 : 2023.7.3.(월)~23.7.19.(수)

· 기타자세한사항 홈페이지 참조
<http://iem.cau.ac.kr>(입학공지사항)

· 인터넷접수 : U-WAY 접수
(<http://uwayapply.com>)

모집요강

■ 모집 인 원 : 00명
■ 전 형 방 법 : 1차 서류심사
2차 면접
■ 면접 일 자 : 2023.7.21.(금)
■ 합격자 발표 : 2023.7.25.(화)/14:00

문의

■ 입학관련 안내 031-670-3010
■ 장학관련 안내 031-670-3246




■ ESG教育課程の運営

- 学部・大学院で10科目以上を開設
 - 持続可能な開発と社会的責任：持続可能性の概念、国際的なSDGsの動向、企業の社会的責任（CSR）などを扱う科目。
 - 気候経済学：環境保護と経済活動のバランス、環境政策の評価などを学ぶ。
 - 倫理的リーダーシップとガバナンス：組織の透明性、倫理的意思決定、リーダーシップの役割に焦点を当てる。
 - ESG投資と金融：ESG評価基準に基づく投資戦略、サステナブルファイナンスの実践。
 - 社会的企業とイノベーション：社会的課題を解決するビジネスモデルや、社会的企業の事例研究。

■ グローカルイノベーター育成

- 国際課題解決型プロジェクト学習

■ 生涯教育の拡充

- オンライン講義プラットフォーム、成人向けプログラム

研究分野の実践



■ FEETSプラットフォーム

- カーボンニュートラル技術統合プラットフォームの開発

■ CO₂転換技術

- 廃棄物ベースの炭素転換、特許出願3件

■ AIによる気候予測

- 降水量予測精度85%以上、地域への応用事例あり

包摂的 ガバナンスと環境 配慮型キャンパス

	Maternity Health Check Leave Pregnant employees receive paid leaves for regular maternity health checks
	Infertility Treatment Support Three days of annual leave for infertility treatments
	Reduced Work Hours for Pregnant Women and Parents Two-hour reduction per day during the key period of pregnancy
	Leave Before and After Childbirth 90 days of maternity leave, with provisions for paid leave
	Parental Leave Parental leave is valid for up to two years and this period is counted towards the total length of service

■ 女性研究者支援

- 育児休暇と研究費の連携、女性比率の向上

■ 障がい者のアクセス拡大

- バリアフリーキャンパス、教育コンテンツの改善

■ グリーン建築認証

- 100周年記念館、エネルギー節約設備の導入

■ 持続可能な食環境

- ベジタリアンメニューの拡充、地域食材の活用

ESG外部リーダー シップの実践



- **カーボンニュートラルESGフォーラム**
 - 大学主催の国内初ESGフォーラム開催
- **ESG CEO課程**
 - 企業リーダー向けESG教育、100名以上が修了
- **デジタル革新プラットフォーム研究所**
 - 持続可能な技術開発と社会課題の解決

地域社会との 連携活動



■ 캠퍼스타운事業

- 若者起業支援30件以上、地域商業の活性化

■ 都市再生プロジェクト

- 安城市との協力による老朽地域の改善

■ モバイル健康相談

- 地域住民向け無料健康サービス、500人以上が参加



2030 年までの 取り組み計画

CAU 2030+戦略 の方向性

■ 目標

- ESGを内在化した大学運営体制の構築

■ 核心価値

- 創造性・包摂性・責任性

■ 戦略的アプローチ

- 教育・研究・社会貢献の統合的ESG実践

教育分野の計画

■ ESG融合型専攻の拡充

- 環境・社会・ガバナンス関連の融合学科を新設

■ 持続可能性リーダーシッププログラム

- 学部生向けグローバルリーダー育成課程

■ デジタル学習環境の強化

- AIチューター、メタバーズ講義の導入

研究分野の計画

- **カーボンニュートラル技術の商用化**
 - 産業界との実証研究の拡大
- **持続可能なエネルギー研究**
 - 太陽光・水素ベースの技術開発
- **産学官連携の強化**
 - ESGスタートアップとの共同プロジェクト推進

包摂的 ガバナンスの 強化

- **多様性重視の政策拡充**
 - 性別・障がい・国籍を問わない参加保障
- **学生参加型意思決定**
 - 予算・政策に学生の意見を反映する仕組み
- **持続可能性評価指標の導入**
 - ESG成果の測定と公開

環境配慮型 キャンパスの ビジョン

- **Net-Zeroキャンパス目標**
 - 2030年までに炭素中立を達成
- **スマートエネルギー管理**
 - IoTベースのエネルギー監視システム導入
- **グリーンインフラの拡張**
 - 太陽光パネル、環境配慮型交通手段の導入

地域・グローバル連携計画

- **地域ESGパートナーシップの強化**
 - 自治体・企業との共同プロジェクト
- **国際持続可能性ネットワークへの参加**
 - 世界の大学との協力
- **ESG教育ハブの構築**
 - アジアのESG教育の中心地として発展

結論



■ 持続可能な大学モデルへの飛躍

中央大学は、ESG戦略を通じて教育機関としての社会的責任を強化し、持続可能な未来に向けた具体的な実践と計画を提示しています。CAU 2030+戦略は、単なるビジョンではなく、実現可能な実行ロードマップとして、大学の持続可能性への転換を牽引しています。こうした取り組みは、中央大学が国内外における持続可能性の先導的な大学として位置づけられるための重要な基盤となるでしょう。



ありがとうございました。

